

プレス公表（運転保守状況）

2016年3月10日

No.	お知らせ日	号機	件名	内容
	2016年 3月8日	5号機	定期検査中における制御棒の動作 (過挿入)について(区分)	<p>(発生状況)</p> <p>2016年3月8日午後2時8分頃、定期検査中の5号機において、制御棒駆動水圧系水圧制御ユニット*¹の弁を操作していたところ、制御棒を操作していないにも関わらず、制御棒ドリフト警報*²が発生しました。制御棒の状態を確認した結果、制御棒(30-55)1本が全挿入位置から更に挿入側に一時的に動作(過挿入)していたものと判断しました。</p> <p>本件は実用炉規則第134条に基づく報告事象に該当するものと判断し、当該規則に基づき報告しております。</p> <p>なお、5号機は、原子炉内に燃料が装荷されており、制御棒が全挿入状態にありました。制御棒は一時的に挿入方向に動作し、その後、通常の全挿入位置を維持していることから、原子炉の安全上の問題はありません。</p> <p>(安全性、外部への影響)</p> <p>本事象による外部への放射能の影響はありません。</p> <p>*1制御棒駆動水圧系水圧制御ユニット 制御棒を炉心内に挿入したり引き抜きしたりするため、制御棒駆動機構に駆動水等を送る装置。</p> <p>*2制御棒ドリフト警報 制御棒が所定の位置にない状態となったことを示す警報。</p> <p>(対応状況)</p> <p>今後、原因について詳細に調査いたします。</p>